

令和2年度 佐賀県学習状況調査の結果（12月2、3日実施・4年生）

◎ 本資料では、東部小学校全体（各学年）の結果について考察しています。別紙にてお知らせしている、「お子様の個票（調査結果票）」や、後日配布します問題用紙及び解答用紙と併せて振り返っていただき、今後の学習に活かすことができるような資料としてお役立てください。

1 【国語】

(1) 結果（県の正答率との比較）

言語や情報に関する「知識・技能」、「書くこと」、「読むこと」については、到達基準（県の定めた期待正答率：それぞれ64.0、54.0、56.0）を上回りました。特に、「読むこと」においては、大きく上回っていました。

一方で、「話すこと・聞くこと」において、到達基準（53.3）を下回りました。

(2) 成果と課題（学校正答率より）

知識・技能

・ 国語辞典の使い方や主語と述語の関係、修飾と被修飾の関係をよく理解しています。一方で、文脈に即して漢字を正しく書くことに課題があります。

話すこと・聞くこと

・ 話し合いの目的や進め方を確認することはよく理解しています。一方で、話し合いで出された考えに対して、自分の考えを発言する場面では、自分の考えが正確に伝わるような発言の仕方に課題があります。

書くこと

・ 書く内容の中心を明確にして書いたり、自分の考えが明確になるような書き表し方の工夫をしたりすることができています。一方で、手紙の構成を理解し、後付け（日付、自分の名前、相手の名前）の場所や順番を書くことができていませんでした。

読むこと

・ 段落相互の関係に着目して読んだり、叙述を基に文章の内容を把握したりすることができています。一方で、説明的な文章を読み、目的を意識して、中心となる語や文を見つけて要約することに課題が見られます。

2 【算数】

(1) 結果（県の正答率との比較）

「知識・技能」、「思考・判断・表現」、「数と計算」、「図形」、「データの活用」については、県平均正答率を上回りました。特に、「データの活用」においては、大きく上回っていました。

一方で、「測定・変化と関係」において、県平均正答率を下回りました。

(2) 成果と課題（学校正答率より）

数と計算

・ 基本的な四則計算をすることはできています。一方で、図を基に式に表したり、式で求めたことを図に表したりするなど、図と式と言葉を関連付けながら考えたり説明したりすることに課題があります。また、分数について正しく理解し、その大きさについて表すことに課題があります。

図形

・ 台形やひし形、円の性質について理解できています。一方で、正三角形を敷き詰めてできた平行四辺形について説明することに課題があります。

測定・変化と関係

・ 場面の状況から、数直線を基に、条件に合う時刻を考えることに課題が見られます。

データの活用

・ 表やグラフを読みとり、表に入る合計の数を計算したり、グラフについての説明を正確に説明したりすることができています。